

# 令和3年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
1-1 1-2 1-3 1-4 1-5 1-6 1-7	スポーツ普及事業の開催	平塚市体育協会 平塚市体育振興連絡協議会 平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市レクリエーション連盟 平塚市スポーツクラブ連合 平塚市まちづくり財団 スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	0	0	継続	第6回目まで開催しており、イベントとして定着してきているため、市民の認知度も上がってきている。市民のニーズを把握して、各種事業を改善しながら、継続事業とする。
2-1	ビーチスポーツ普及事業の開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツ体験会の開催(ビーチバレー、ビーチラグビー、ビーチテニス、ライフセービング等)	青少年の健全育成とビーチスポーツの普及、新たな海岸利用を提案するため、各種ビーチスポーツ体験会を実施します。	新型コロナウイルス感染症の関係で、実施できませんでした。	新型コロナウイルス感染症の関係で、実施できませんでした。	継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、相模湾沿岸でも数少ないビーチスポーツの拠点として、今後ともビーチスポーツに接する機会の提供と復旧に努めていきます。
2-2	ビーチスポーツ普及事業の開催(廃止)	スポーツ課	各種ビーチスポーツ体験会の開催(ビーチバレー、ビーチラグビー、ビーチテニス、ビーチサッカー、ライフセービング等)	青少年の健全育成とビーチスポーツの普及、新たな海岸利用を提案するため、各種ビーチスポーツ体験会を開催します。	例年は名義後援の申請があるが、令和3年度は申請がなかった	例年、名義後援での間接的な支援を行っていたため、申請がなかったことから、対応できなかった。	廃止	補助金交付による支援は28年度で終了となっている。現状、名義後援のみとなっていることから当該事業を廃止とする。名義後援による支援は継続する。
3	運動体験教室	健康課	腹囲マイナス教室、すっきりボディを手に入れたいあなたへ、未病改善教室・フォロー教室	生活習慣病予防のために、運動の実践を通して生活習慣の改善を図り、運動習慣を身につける。	腹囲マイナス教室(6日間コース)を開催、全6回で参加者延69人 すっきりボディを手に入れたいあなたへ(6日間コース)開催、全6回で参加者延117人 未病改善教室(8日間コース)を開催、全8回で参加者延187人 未病改善教室フォロー教室を開催、全2回で参加者延10人	腹囲マイナス教室は、最終日の参加者全員が運動習慣の改善を認めた。 すっきりボディを手に入れたいあなたへの参加者は、約6割が運動習慣に関する目標を達成。 未病改善教室教室は、体重減少の5%は約9割が達成し、運動習慣や食習慣の改善の取り組みにつながった。	継続	前年度に引き続き、対象年齢を拡大したり、女性のための教室を新たに設けるなど肥満改善や高血圧予防・重症化予防の観点からも引き続き事業を継続していく。
4	健康づくり推進事業	健康課	健康づくり推進事業	市民の健康づくり運動を推進するための事業や活動を実施する。	健康ウォーキング9回開催、延参加者数299人 くすのき体操講習会25回開催、延参加者数467人 体力チェック1回実施、延参加者数10人 運動・休養の教室6回開催、延参加者数189	健康推進員活動は、運動の習慣化を目指し継続参加が可能なため多くの市民が参加し、運動習慣を定着させる機会となっている。	継続	前年度に引き続き、健康推進員の育成及び活動支援を行い、地域での健康づくりの輪を広げていく。
5	健康推進員養成講座	健康課	健康推進員養成講座	市民が健康づくりの重要性を理解し、自主的に活動するために必要な知識・技術を学習する。	養成講座全8回実施、延参加人数80人	「自分たちの健康は自分でつくり、守る」という地域での健康づくり活動の動機づけを広く行うことができた。	継続	前年度に引き続き、健康推進員を養成し、地域での健康づくりの輪を広げていく。
6	健康推進員育成講座	健康課	健康推進員スキルアップ!講座	健康推進員が地域において健康づくり活動のリーダー的な役割を担い、地域において活動を推進することを目的とする。	スキルアップ講座全4回実施、延参加人数57人	日頃の健康づくり活動を安全かつ効果的に行うために必要な知識・技術を参加者が習得できた。	継続	前年度に引き続き、健康推進員の活動において、地域で安全にウォーキングや体操、体力測定を実施していくための知識・技術の向上を行っていく。
7	日常的運動習慣への啓発事業の開催	スポーツ課	ウォーキングイベント	多くの市民が参加しやすいスポーツイベントを提供するために、「楽しむこと」を重要視して、結果的に「スポーツをすること」に繋がるウォーキングイベントを検討します。	コロナ禍の状況を踏まえ、気軽にスタートできるスポーツイベントの検討とともに、スポーツ情報の提供などを行った。	コロナ禍により、日常的な運動習慣を維持することが難しい状況下において、スポーツナビを通じた情報提供や既存のイベントの見直しなども含めていかに運動につなげることができるかの検討を行った。	継続	新型コロナの影響によりイベントの実施は難しい状況であるが、スポーツをする機会が提供できていないことを踏まえ、ウォーキングイベントを始め、気軽に参加できるイベントについて引き続き検討する。

# 令和3年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
8	地域健康づくり活動支援プログラム	健康課	地域健康づくり活動推進プログラム	地域の健康づくりを目的として活動しているグループに対し、教育を実施し、健康づくりに関する知識や技術の向上を図ることを目的とする。	高齢者の地域支援を地域包括ケア推進課でも実施し重複している。そのため、事業自体を見直し、重複している部分については令和元年度で廃止し、重複していない部分は地域健康づくり支援事業に統合した。		統合	高齢者の地域支援を地域包括ケア推進課でも実施し重複している。そのため、事業自体を見直し、重複している部分については令和元年度で廃止し、重複していない部分は地域健康づくり支援事業に統合した。
9	地域健康づくり支援事業	健康課	地域健康づくり支援事業	市民団体及びグループ等からの依頼に応じて、健康教育・健康相談等を実施し、健康づくりの知識・技術の向上を図る。	新型コロナワクチン感染拡大の予防のため、地域の団体で活動を自粛しており、依頼がなかった。		継続	前年度に引き続き、より多くの市民に健康づくりの知識・技術を普及し、自身の健康を考えるきっかけを増やしていく。
10	公民館における自主事業等	中央公民館	公民館における自主事業等	スポーツに親しむ機会を市民に提供するため、公民館主催の児童・生徒地域参加事業、家庭教育学級、シニア学級、自主事業等を実施します。	合計 60事業 延べ2256人 内訳 児童・生徒地域参加事業 7事業 延べ506人 家庭教育学級 5事業 延べ 75人 シニア学級 30事業 延べ615人 自主事業 16事業 延べ966人 その他 2事業 延べ 94人	新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、規模を縮小して実施した。	継続	感染症対策を講じながら、学びを継続する。
11	市民総合体育大会・各種スポーツ大会	スポーツ課	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図るとともに、住民相互の親睦を図るため、地区体育振興会単位の対抗戦形式での市民総合体育大会や各種スポーツ大会を開催します。	新型コロナの影響により、大会実施に至らなかった。	0	継続	第70回を迎える大会で毎年4000名程度の選手が出場する市内でも最大級のスポーツイベントである。また、平塚市スポーツ協会に大会の運営を主管していただき、平塚市体育振興連絡協議会に出場者を募っていただくなど、市民の参画による大会であり、地区対抗としても親しまれている大会のため。
12	市民体育レクリエーション地区大会	中央公民館	市民体育レクリエーション地区大会	地域住民相互の親善と交流を深め、明るい地域づくりの推進を図るとともに、スポーツ、レクリエーション活動の向上と健康の増進を図るため、各地区で市民体育レクリエーション地区大会を実施します。	新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、地区公民館26会場中、25会場中止した。		継続	開催要項・ガイドラインに従い、感染症対策を講じながら実施する。
13	スポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	スポーツ教室 (子どもを対象としたスポーツ教室を除く。)	市民が生涯にわたってスポーツ活動を楽しみながら健康増進を図り、いつまでもいきいきとした生活を送ることができるよう、スポーツ教室を開催し、健康増進への機会の提供及びスポーツに対する参加意識を高める。	35のスポーツ教室を実施 参加者4,461人 (子どもを対象としたスポーツ教室を除く。)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室の開催を中止した期間もあったが、前年よりも参加者数は増加した。感染症対策をしながら教室を開催したことで、健康増進への機会の提供することができた。	継続	スポーツを親しみ、健康増進への機会を提供するために、今後も継続する。
14	手話ダンスによる健康づくり事業	スポーツ課	手話ダンスによる健康づくり事業	手話を取り入れたエンターテインメントグループの「HANDSIGN」と連携し、子どもから高齢者、障がい者が健康で、いつまでもいきいきと暮らし続けられるまちづくりを目指し、運動・スポーツ活動のきっかけづくりとするため、手話ダンスを活用した事業を実施します。	新型コロナの影響を踏まえ、関係団体等との調整の結果、事業実施に至らなかった。	0	継続	小学校等での公演を通して、手話やダンスに興味を持ってもらえる機会を提供し、手話ダンスの普及啓発を図る。
15	スポーツボランティアの活用	スポーツ課	スポーツボランティア活動事業	スポーツボランティア活動の機会を提供するため、市が開催するスポーツ大会などにスポーツボランティアを活用します。	新型コロナウイルスの影響から、多くのスポーツ課主催事業が中止となったため、事業実施に係るボランティアの募集は行わなかった。	今年度、事業の中止に伴いボランティアの活用機会はなかった。また、コロナ禍においてボランティアを活用するかは安心安全確保の観点から十分な対策と合わせて慎重に判断する必要があると考える。	継続	引き続きスポーツを支える視点から、各種スポーツイベントにおけるボランティアの活用を進める。

# 令和3年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
16	ミニミニ運動会	保育課	ミニミニ運動会	子育て中の親子が楽しめるふれあいの場を提供するため実施している。親子で一緒にできる運動や自然物を使ったの制作を楽しんでいる。	新型コロナウイルス感染症対策のため4回全て実施はできなかったが、「おうちでミニミニ運動会」の動画を配信してコロナ禍でも親子で楽しめるようにした。	令和2年度に続き、子育て情報誌や配信動画を制作、更新し、配信。ふれあい遊びや体操、手作り玩具紹介、エプロンシアター、パネルシアター等スマホやパソコンから見て親子で楽しめるようにした。	継続	新型コロナウイルス感染症予防対策のため実施はできなかったが、動画配信はとても好評であったことやこれまで多数の参加があったことから、ニーズは高いと考えている。
17	親子で遊ぼうフェスティバル	保育課	親子であそぼうフェスティバル	未就学児の子どもとその保護者を対象として、親子の交流・ふれあいを深めるため、親子と一緒に体操やふれあい遊びを行うイベントを実施。	新型コロナウイルスの影響により規模を縮小し、「親子であそぼうふれあい交流事業」として子育て支援センターにて3月22日に実施。12組(子ども18人、保護者12人)が参加した。	新型コロナウイルスの影響により規模は縮小したが、ボランティアの学生にも協力いただき、ダンスや歌遊びを親子で楽しみ、好評だった。	継続	コロナ前の親子であそぼうフェスティバルでは、300～400名が参加した実績があり、令和3年度の小規模開催の際も定員一杯参加していただき、ニーズの高いイベントと考えられる。
18	計画訪問	教育指導課	幼稚園・こども園・小中学校訪問	指導力の向上を図るため、授業研究を通して、教育指導のあり方や実施上の諸課題などについて研究協議する。	中学校で行われた球技(バレーボール)の授業に、市内の15校の中学校より16名の保健体育科教員が参加した。また、市内の小学校1校でゴール型ゲームの授業研究を行った。	研究協議を深めることができ、指導力の向上を図ることができた。	継続	教員の指導力向上のために、今後も継続していく。
19	中学校部活動研究推進協議会	教育指導課	中学校部活動推進事業	部活動の諸課題を解決するため、中学校部活動研究推進協議会において、具体的取り組みについて研究の実践を行う。	令和3年度はコロナウイルス感染症のため書面開催。今後の部活動のあり方について「休日の部活動の段階的な地域移行に向けた学校と地域が協働・融合した部活動の具体的な実現方策」について検討した。	今後の部活動のあり方について成果と課題について把握し、今後の検討資料とすることができた。	継続	生徒にとって望ましい部活動の環境を構築する観点と学校の働き方改革の観点から、持続可能な部活動の在り方について諸課題解決のために今後も継続していく。
20	中学校部活動指導者派遣事業	教育指導課	中学校部活動地域指導者派遣事業	中学校における部活動育成及び活性化のため、各学校の要請に応じて専門的資質を有する地域指導者を、運動部及び文化部顧問の指導協力者として派遣する。あわせて地域指導者に対する講習会を実施する。	地域指導者派遣期間は令和3年4月1日から令和4年2月28日。延べ107人の地域指導者が総計4,147単位時間活動した。	学校の顧問不足や放課後の会議等で指導時間の確保ができない顧問が多い中、生徒の意識の向上、より高い技術指導の提供等の面で大変に有効であった。	継続	生徒の意欲向上さらには高い技術指導の提供のために、今後も継続していく。
21	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	教育指導課	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	心身ともに健全な中学生の育成のため、全国・関東中学校体育大会及びこれに準ずる大会・コンクール等に出場する中学生を激励する。また、激励金を交付し活動を支援する。	令和3年度は運動部では全国大会へ団体2種目(9人)、個人6人、関東大会へ団体4種目(30人)、個人15人が出場した。文化の部では全国大会へ個人1人、関東大会へ1団体(3人)、個人1人が出場し激励金を支給した。	激励金は、学校長あてに交付されるが、関東・全国大会等の参加時支度金として有意義に活用された。	継続	全国・関東大会に出場する選手を激励するために継続していく。
22	イーハトーブ花巻キッズアスリート交流事業	平塚市体育協会	イーハトーブ花巻キッズアスリート交流事業	運動能力の優れた児童及びその保護者を対象に、専門知識や多様なスポーツトレーニング体験の機会を提供し、競技技術の向上を資するため研修会を開催する。	東京オリンピック・パラリンピック開催により、東海大学から選手派遣及び施設提供ができない旨の申し出があり、中止となった。	令和元年度の時点で令和2年度の交流事業を実施しないことは決定していた。	終了	花巻市から当事業の予算が確保できない旨の申し出があり、令和3年度以降も交流事業を実施しないことになった。
23	少年少女スポーツ大会	スポーツ課	少年少女スポーツ大会	スポーツを通じて青少年の健全育成を図り、授業以外での運動習慣をつける機会を提供するため、野球、水泳、剣道、マラソン大会を実施します。	平塚市少年野球大会を実施(7月24日～8月1日) 学童の部 22チーム、ジュニアの部 9チーム 中学生の部 10チーム 合計 41チーム(選手合計 591人)	コロナ禍ということもあり、平塚市少年野球大会のみの開催となったが、心身の健全育成に寄与するとともに、子どもたちにスポーツをする機会の提供ができた。	継続	スポーツをするきっかけづくりや日頃の練習の成果を発揮する大会として目標になっていることから、参加しやすい工夫をするなどして、今後も継続していく。
24	小学校プール開放事業	スポーツ課	小学校プール開放事業	児童の心身の健全な育成と体力の向上を図るため、夏季休業中の小学校のプールを開放する。	0	0	継続	今後も継続していく方向だが、プール開放のあり方を検討する。

# 令和3年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
25	市民総合体育大会・各種スポーツ大会(再掲)	スポーツ課	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図るとともに、住民相互の親睦を図るため、地区体育振興会単位の対抗戦形式での市民総合体育大会や各種スポーツ大会を開催します。	0	0	継続	第70回を迎える大会で毎年4000名程度の選手が出場する市内でも最大級のスポーツイベントである。また、平塚市スポーツ協会に大会の運営を主管していただき、平塚市体育振興連絡協議会に出場者を募っていただくなど、市民の参画による大会であり、地区対抗としても親しまれている大会のため。
26	子どもを対象としたスポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	子どもを対象としたスポーツ教室	子どもたちにスポーツの楽しさと素晴らしさを知ってもらうため、子どもを対象としたスポーツ教室を実施する。	2つのスポーツ教室を実施 参加者149人 ジュニア新体操教室:2クール 26回 計57人 テニススクール(ジュニアコース):3クール 28回 計92人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室の開催を中止した期間もあったが、前年よりも参加者数は増加した。感染症対策をしながら教室を開催したことで、子どもたちにスポーツを楽しむ機会を提供することができた。	継続	スポーツを楽しむ機会を提供するために、今後も継続する。
27	フレイル対策推進事業	地域包括ケア推進課	フレイルチェック測定会	高齢者の身体状態を把握し、介護予防のための運動へのきっかけづくりとなる「フレイルチェック」を実施します。	フレイルチェック測定会 20回実施 参加者延べ196人	「気づく」ためのフレイルチェック測定会は予定回数を大きく上回る20回を実施できた。高齢者のフレイル予防を図ることができた。	継続	より多くの高齢者がフレイルに「気づく」ための機会を増やす必要がある。また、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に基づき、後期高齢者健診とフレイルチェックを一体的に実施し、フレイルへの気づきと行動変容を促す仕組みの構築や低栄養やオーラルフレイルなど地区ごとに異なる健康課題への対応を行うことが重要となる。
28	地域介護予防活動支援事業	地域包括ケア推進課	通いの場サロンの支援	地域で住民主体に運動等の介護予防活動を開催する高齢者の通いの場(サロン)や新規に開催を希望する通いの場(サロン)への支援を行います。	団体数 131団体 開催回数 13,256回(延べ) 参加人数 123,258人(延べ)	団体数、開催回数、参加人数ともに増加した。新型コロナウイルス感染症の拡大状況や緊急事態宣言の発令等の影響により活動を自粛していた団体もあるが、アンケートによる活動状況等の結果の共有や安心して活動できるよう感染症対策のポイント等の情報提供を行い、活動再開に向け支援を行うことができた。	継続	新規に通いの場を希望する団体には通いの場事業の趣旨説明を郵送及び電話対応で行う。既存の団体には必要に応じて補助対象の見直し等を行うほか、コロナ禍でも安心して活動できるよう、国の考え方やガイドライン等に注視し、適切なタイミングで感染症対策の情報提供や注意喚起を行う。また、コロナを機に参加しなくなった等気になるメンバーがいる場合には、高齢者よらず相談センターにも相談するよう促しを行い、通いの場スポーツをするきっかけづくりのため、競技種目を検討し継続する。
29	ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	スポーツを楽しむことを通じて高齢者の生きがいの高揚を図るとともに社会との連帯感を養成し、もって高齢者福祉の向上を図るため、ゲートボール競争等気軽に楽しめる種目のあるスポーツ大会を実施します。	新型コロナの影響により事業実施なし。	0	継続	高齢者の健康保持に加え、湘南ブロック老連ニュースポーツ交流のつどいグラウンドゴルフ大会の予選会を兼ねているため、継続する。
30	ゆめクラブ湘南平塚グラウンドゴルフ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	競技を通し友好と連帯を深めつつ、お互いに生きがいと健康の保持増進に役立て、高齢者の福祉の発展に寄与するため、グラウンドゴルフ大会を実施します。なお、湘南ブロック老連予選会を兼ねます。	(1)平塚市老人クラブ連合会第10回グラウンドゴルフ大会 ・開催日:11月12日 ・参加者数:150名(前年度参加者数:138名)  (2)湘南ブロックグラウンドゴルフ大会 ・開催日:11月26日 ・湘南ブロック各市町老連から17チーム102名が参加	・(1)の大会は、前年度よりも参加者を増やして開催することができた。 ・(2)の大会は、令和3年度、平塚市老人クラブ連合会が主管となって開催した。 ・両大会の開催によって、高齢者の生きがいづくりや交流、健康の保持増進が図ることができた。	継続	
31	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい福祉課	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の社会参加を促進するため、各種障がい者スポーツ大会への参加を支援します。	新型コロナの影響により支援する大会の実施なし。	0	継続	スポーツを通じた、障がい者の余暇活動の充実を図ることで、より多くの社会参加の機会提供が進み、本人の生活力向上や健康維持に繋がるため継続して行う。
32	ひらつかパラスポーツフェスタ開催事業	スポーツ課	ひらつかパラスポーツフェスタ開催事業	パラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験する機会を提供し、パラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとすることを開催する。	新型コロナの対策を踏まえ実行委員会において開催可否を検討し、中止が決定した。その他、ポッチャ体験などを中学校、公民館、地域の自治会などで積極的に職員を派遣し実施した。	パラスポーツフェスタは、新型コロナの対策が難しいが、実施に向けて取り組んでいきたい。また、ポッチャ競技への市民ニーズが高くなっており、職員を派遣し体験教室を行うことでパラスポーツに取り組むきっかけ作りに寄与することができた。	継続	パラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験する機会を提供し、パラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとすることを有効な事業のため、引き続き継続していく。

# 令和3年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
33-1 33-2	地区体育振興事業	平塚市体育振興連絡協議会 スポーツ課	地域のスポーツ活動委託事業	地域住民のスポーツ活動を推進するため、各地区体育振興会に委託し、地域に即応したスポーツ行事を開催します。	コロナの影響により中止となる事業もあったが、対策を講じながら46事業を実施し、1,649名の参加者があった。	コロナ禍でありながら、感染状況や感染対策などを各地区で模索してできる限りの事業を実施し、市民がスポーツに触れ合う機会や地域の交流に寄与することができた。	継続	スポーツを通して、地域交流を図ることは地域の発展について非常に有用であることから、コロナへの対策など各地域間で情報共有しながら、継続して事業を実施していく。
34	スポーツ普及員の認定	スポーツ課	スポーツ普及員の認定について	地域でスポーツの普及を担う人材を確保するため、スポーツ普及員の創設に向けた検討を行います。	現在の地域におけるスポーツ普及振興の状況を踏まえ、スポーツ普及員の役割及び認定制度について検討した。	本市の特性として、地域におけるスポーツの普及振興を地区の体育振興会やスポーツ推進委員に担っていただいており、スポーツ普及員認定制度の趣旨から、当該制度の導入による効果は低いものと判断する。	終了	今後もスポーツ行政と関係団体との連携を強化しながら、認定制度の趣旨等を参考に、本市の特性を生かしながら地域で実践する個人を讃え、励みとなるような効果的な取り組みについて検討を継続する。
35	市民活動団体などとの協働	スポーツ課	市民活動団体などとの協働事業	行政が抱える課題や地域課題を解決するため、市民活動団体と行政が協働して事業を実施します。	平成26年度からスポーツに関する2事業を実施 市内スポーツ情報ポータルサイト構築運営事業 小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して実施した。	市民活動団体と行政がお互いのノウハウを活かしながらそれぞれの事業に着手し、事業展開が図られている。	継続	市民団体(藤沢シニアネット)、平塚市まちづくり財団と協働して運用事業を継続して実施していく 小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業については、大学交流事業として、小学校1校で月2回継続して実施していく。
36-1 36-2	スポーツ推進委員研修会	平塚市スポーツ推進委員協議会 スポーツ課	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、スポーツ推進委員協議会が委員に向けた研修会を開催。	例年、年1回の研修大会、年4回の研修会を開催している。令和3年度は、コロナの為に、研修会を1回中止したが、研修大会及び研修会3回を開催した。	地域等で指導するニュースポーツ競技を中心に研修会で相互に学ぶことができた。また、次年度から改めて開催する予定であるトリムパレについても新規委員を中心に研修を行った。	継続	スポーツ推進委員が各地区住民にスポーツ・レクリエーションに関する助言・指導を行う上での有効な事業のため、引き続き継続していく。
37-1 37-2	県スポーツ推進委員研修会などへの派遣	平塚市スポーツ推進委員協議会 スポーツ課	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、県スポーツ推進委員連合会や西湘ブロックなどの研修会に委員を派遣します。	新型コロナウイルスの影響から、研修会が開催されず委員の派遣には至らなかった。	研修会が開催された際に派遣できるよう、予算の確保と合わせて団体と調整の上対応する。	継続	スポーツ推進委員が各地区住民にスポーツ・レクリエーションに関する助言・指導を行う上での有効な事業のため、引き続き継続していく。
38	総合型地域スポーツクラブの相談窓口の設置	スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの相談・支援事業	総合型地域スポーツクラブの新設や運営等の相談・支援を行うため、相談窓口を設置します。	市内創設済みクラブは3団体、相談窓口は担当職員を配置することで設置済み。令和2年度中から設立に向けて準備をしている団体があり、現状の確認・相談に応じていたが、新型コロナウイルスの影響で活動が実施できないことから設立には至らなかった。	設立を目指す団体の活動を視察・実態調査に行く予だったが、新型コロナウイルスの影響で事業を実施できないことから実現しなかった。	継続	県の所管課や各種関係団体のパイプ役として、身近な相談窓口として必要なため、継続して実施する。
39-1 39-2	平塚市民・大学スポーツ交流事業	東海大学 スポーツ課	平塚市民・大学交流フェスタ	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	平塚市民・大学交流事業スポーツフェスタを実施 12月19日(日) 中学生陸上競技教室 19人 中学生バスケットボール教室 76人 中学生水泳教室 5人 合計 280人	多くの中学生が参加し、参加者の生涯スポーツの普及に寄与した。また、大学の学生と市内中学生の交流も見られ、地域貢献にも寄与した。	事業拡大	多数の参加者がいるため、生涯スポーツの普及振興のため、継続していく。
40-1 40-2 40-3	平塚市民・大学スポーツ交流事業	東海大学	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	「少年少女マラソン大会」(東海大学)、「サッカー教室」(神奈川大学)を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	実施にあたり、感染防止対策を講じても感染リスクをゼロにすることは難しく、仮に実施する場合でも、コロナ感染対策として参加者数及び当日の活動内容を制限することになり、本事業の目的である市民と大学との交流を十分に図ることができないことから中止とした。	継続	多数の参加者がいるため、生涯スポーツの普及振興のため、継続していく。

# 令和3年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
41-1 41-2	東海大学との協働による小中学校体育施設個人開放事業	東海大学スポーツ課	小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブに委託して、小・中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放する。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。 みずほ小学校 年7回	新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、実施回数を削減した。	継続	大学交流事業としてパラスポーツ体験を今後も取り入れながら継続していく。また事業実施の際には感染症対策を徹底し、市民の健康促進等の場を提供していく。
42-1 42-2	競技力強化事業	平塚市体育協会スポーツ課	競技力強化委託事業	国体選手の養成、本市スポーツ協会関係選手の強化育成を図るため、平塚市スポーツ協会に競技力強化事業として委託します。	新型コロナウイルスの影響から、平塚市体育協会27加盟団体のうち、5団体が事業を予定どおり実施することができず、委託料の返金があった。	新型コロナウイルスの影響が残る中で、感染対策を講じた上で事業を実施する加盟団体が多くあった。しかし競技の特性上事業実施が難しい競技団体もある。今後も新型コロナウイルスの影響は残る中で事業実施が想定されるため、蓄積した経験を令和4年度に活かしてもらうことを期待したい。	継続	全国大会等へ、多くの出場選手を輩出していることから、今後も継続する。
43-1 43-2	市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会などへの選手派遣	平塚市体育協会スポーツ課	選手派遣事業	駅伝大会を通じて市町村相互の交流や、競技力の向上を図るとともに、健康、明朗な心身の育成を図るため、かながわ駅伝に選手を派遣します。	新型コロナウイルスの影響により大会は中止となったため、選手派遣には至らなかった。	県や市内のスポーツ関係団体等と調整を図りつつ、大会への派遣に対応できるよう予算を含めて準備する。	継続	選手選考、練習、大会参加を通じて、市町村間の交流や世代を超えての交流、競技力の向上を図ることができるため、継続して実施する。
44-1 44-2	スポーツ優秀選手表彰	平塚市体育協会スポーツ課	平塚市スポーツ優秀選手表彰	スポーツへの興味関心を高めるとともにスポーツの競技会において優秀な成績を収めた選手等の栄誉をたたえるため、スポーツ優秀選手として表彰します。 平塚市スポーツ優秀選手表彰規定	令和3年度平塚市スポーツ優秀選手 個人 7名 団体 4団体	スポーツをする人にとっての目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。 令和3年度は新型コロナウイルスの影響で中止となった大会もあったが、受賞対象者も令和2年度と比較し増加した。	継続	本市スポーツの振興に寄与すると判断し、継続事業とする。
44-3	スポーツ優秀選手表彰	平塚市まちづくり財団	スポーツ優秀選手表彰	スポーツの大会等に出場し、優秀な成績を収めた選手等を讃えるため、スポーツ優秀選手として表彰する。	スポーツ優秀選手の表彰 個人 20人（団体はなし）	スポーツをする人にとっての目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。	継続	スポーツ優秀選手として表彰対象者にとっての活力となるよう、今後も継続する。
45	体育功労者表彰	スポーツ課	体育功労者表彰	地域または職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、体育の振興に顕著な成果をあげた体育関係者及び社会体育団体を讃えるため、体育功労者として表彰します。	令和3年度神奈川県及び平塚市体育功労者 神奈川県体育功労者 1名 平塚市体育功労者 6名	スポーツの普及発展に貢献し、本市体育・スポーツの振興に寄与した。	継続	表彰対象者にとっての活力となるよう、また、関係者の競技力の向上やきっかけづくりとなるため、今後も継続する。
46-1 46-2	支援金の交付	平塚市まちづくり財団 平塚市体育協会	スポーツ団体等に対する助成・援助	市民がスポーツ活動を通して、市民相互のふれあいと地域の連携意識を高めながらスポーツ活動を継続できるよう、全国大会等で優秀な成績を収めた選手等に支援金を交付する。 また、全国大会出場者に記念品を贈呈する。	全国大会等出場者への支援 計38件 内訳 国際大会:11件(個人11件) 全国大会:26件(個人26件) 関東大会:1件(個人1件) 全国大会出場者への記念品贈呈:10件(個人10件)	支援金の申請者の励みになり、スポーツ活動を継続することに寄与している。	継続	申請者の励みになり、スポーツ活動への持続に効果があると考えられるため、今後も継続する。
47	会場使用料の援助	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する助成・援助	市民がスポーツ活動を通して、市民相互のふれあいと地域の連携意識を高めながらスポーツ活動を継続できるよう、市内スポーツ団体が主催する一般市民を対象としたスポーツ大会の会場使用料を援助する。	会場使用料援助 2件(団体2件)	市内スポーツ団体が継続してスポーツ大会を開催できることに寄与している。	継続	スポーツ活動への持続に効果があると考えられるため、今後も継続する。
48-1 48-2	平塚市体育協会の法人化に向けた支援	平塚市体育協会スポーツ課	平塚市スポーツ協会の法人化に向けた支援	平塚市スポーツ協会の自主的な活動を推進するため、法人化に向けた支援を行います。	法人化に向け、団体との協議は行っていない。	法人化に向けた市への支援要請はなく、団体の現行の運営体制、過去の検討状況等を考慮すると現状において法人化に向けた具体的な検討を行う段階ではないと判断する。	休止	法人化に係る検討については、団体からの要請を踏まえて対応する。近隣市町の情報収集や法人化の手法等の研究は、引き続き進めることとする。
49-1 49-2	小学校体育巡回授業、幼稚園・保育園巡回教室	湘南ベルマーレスポーツ課	小学校体育巡回、幼稚園、保育園巡回教室補助事業	湘南ベルマーレの指導者がサッカーの楽しさを伝えとともに、協調性などの人間力向上を図るため、小学校巡回授業や幼稚園・保育園巡回教室の実施に対し補助金を交付します。	小学校8校 計461名 幼稚園・保育園7園 計341名	湘南ベルマーレのコーチによる、サッカーやボールを用いた運動の指導を受けることにより、スポーツへの興味・関心を持ち、団体活動・集団活動を通じて礼儀や協調性などの人間性向上にも寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続して実施していく。

# 令和3年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
50-1 50-2	平塚市トレーニングセンターへの指導者派遣	湘南ベルマーレスポーツ課	平塚市トレーニングセンター指導者派遣事業	補助金交付を通じて、ジュニアサッカー選手育成のため、優れた指導力を備える湘南ベルマーレの指導者を平塚市トレーニングセンターに派遣します。	中学生 0名 小学生 延べ820名 中学生について、新型コロナウイルスの影響で活動回数の減少した中で、コーチの派遣はなかった。	Jリーガーの輩出実績とともに、選手同士の交流や指導を受けた選手が各チームの模範選手となるなど、市内育成年代のサッカー競技力向上や人間性の向上にも寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続して実施していく。
51-1 51-2	サッカースクール	湘南ベルマーレスポーツ課	未就園児親子運動教室 親子サッカー教室 レディースサッカー教室	未就園児や幼稚園児とその保護者及び女性が身体を動かすことの楽しさ、大切さを実感する。また、スポーツの振興を図るとともに施設利用を拡充するため、サッカー教室やスポーツ教室を実施します。	令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のため未就園児親子サッカー教室についてはオンライン、レディースサッカー教室については動画配信による実施となった。 実施回数13回、参加申込4組、延べ20組参加 実施回数13回、参加申込2組、延べ11組参加 動画公開数2回(ドリブル編、キック編) 延べ視聴回数357回	新型コロナウイルス感染予防対策のため制限がある中でオンラインや動画配信による実施となった。	継続	コロナウイルスが蔓延している状況ではオンラインや動画配信を行い密を避けたりソーシャルディスタンスを保ちながら事業を行うため。
52-1 52-2	小学生無料招待事業(ドリームパスポート)	湘南ベルマーレ総合公園課	ドリームパスポート事業	プロという質の高いスポーツに触れる機会を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともにスポーツを楽しめるまちを推進するため、総合公園で行われるプロスポーツ(湘南ベルマーレ、横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズ)の試合に、市内在住小学生を無料招待します。	パスポート利用者数 延べ925人	ドリームパスポートを通じてスポーツへの興味や関心を高めるとともに、スポーツを楽しめるまちの推進に寄与した。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためプロスポーツ団体の観客数を減少して開催した。	継続	小学生が無料でプロの試合を観戦できるこの取り組みは、平塚市独自のものであり、スポーツを楽しめるまちとして、小学生のスポーツへの興味・関心をさらに高めるために今後も継続する。
53	サイクルイベントの実施	事業課	令和2年度は施設貸し出しのイベント希望なし、事業課主催でのイベント実施無し。	地域住民の健康づくりを「自転車」をキーワードに様々な視点から提案や施設の貸し出しを行う。	貸し出しの希望なし。 主催イベントの実施無し。	新型コロナウイルス感染症対策のため、場内のイベント開催中止となった。	廃止	施設の貸し出しでは、希望する団体があるかどうかは毎年不確定であり、計画への位置づけにそぐわない。 主催イベントについても、様々なイベントを実施しており、毎年自転車に関するイベントを実施することは予定されていないので、計画への位置づけはそぐわない。
54	平塚市スポーツ指導者制度の運営	スポーツ課	平塚市スポーツ指導者制度運用事業	市民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しみ、いつまでもいきいきとした生活を送れるよう支えるスポーツの観点から及びスポーツ水準の向上を図るため、スポーツ指導者登録制度を運用します。	令和3年度スポーツ指導者の登録はなかった。	平塚市スポーツ指導者は延べ6名。	継続	指導者としての登録者数の増加や、指導を希望する者が効果的に利用できるような制度の充実に努める。なお、各公民館で行っている「人材登録制度(知恵袋バンク)」や県の生涯学習情報システム(プラネットかながわ)の活用方法なども調整を図る。
55-1 55-2 55-3	スポーツ指導者講習会	平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市スポーツクラブ連合 スポーツ課	令和3年度平塚市スポーツ指導者講習会	地域で活躍するスポーツ指導者の資質向上を図ることを目的とする。	新型コロナの影響により、指導者講習会を中止した。	0	廃止	例年、スポーツ推進委員協議会からの参加者がいないため、令和4年度以降はスポーツクラブ連合関係者を対象に事業を実施する。
56	平塚市スポーツ協会指導者講習会	平塚市体育協会	平塚市スポーツ協会指導者講習会	平塚市民の生涯スポーツの普及・振興を図るとともに、指導者の養成並びに、選手の競技力向上を図る推進体制を確立する。	令和3年度実績 第1回「トレーニング論と安全管理について」参加者42名 第2回として「スポーツ指導者に必要な医学的知識」 第3回として「AED講習会」を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施しなかった。	平塚市スポーツ協会加盟指導者の知識、技術のスキルアップに寄与した。	継続	指導者にとっての指導力の向上に繋がるので、今後も継続する。
57-1	トップスポーツの試合の招致・開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツの全国大会、プロレベルの試合等の誘致	トップレベルのビーチスポーツに触れる機会を提供し、普及促進を図るため、ビーチスポーツの全国大会等を誘致します。	無観客ながら、ビーチバレージャパンツアーが開催されました。	プロ選手も参加する大会を、条件付きではありませんが開催することができました。	継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、相模湾沿岸でも数少ないビーチスポーツの拠点として、今後とも質の高いレベルのビーチスポーツに接する機会の提供に努めていきます。

# 令和3年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
57-2	トップスポーツの試合の招致・開催	総合公園課	スポーツ大会招致	質の高いスポーツ観戦の場を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを楽しめる街を推進するため、総合公園において、プロスポーツのほかさまざまな種目のトップレベルの大会を開催します。	Wリーグ(日本女子バスケットボールリーグ)	Wリーグ(レギュラーシーズン・QF)開催が開催され、平塚でのバスケットボール振興が定着している。陸上競技では毎年全日本クラスの選手で話題が多くある大会を開催地として競技団体から評価をうけている。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により大会が来場者の規制をした。	継続	トップレベルの大会を開催することで施設価値を高めることになり、市民にも身近に観戦できる環境を提供する。スポーツ振興にはトップレベルの大会招致が必要である。スポーツのまち平塚を多くの方に認識していただく。多数来場者が見込めるため経済効果も見込める。
58	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	スポーツ課	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	市民のスポーツへの興味・関心を高めるため、広く市民が観覧できる全国規模のスポーツ大会などを開催する団体を支援します。	計2団体をの支援を実施 公益財団法人日本学生陸上競技連合、実業団・学生対抗陸上競技大会	新型コロナウイルス感染症対策を講じての開催となったが、本市においてトップレベルの大会が開催されたことで、市民のスポーツへの興味・関心や育成年代への喚起にも寄与した。	継続	市民へのスポーツを観る機会の創出のため、今後も継続して支援していく。また、大会の規模や市民からのニーズにより、支援団体の精査や見直しを併せて実施する。
59-1 59-2 59-3 59-4 59-5 59-6 59-7	トップアスリートを活用したイベントの開催	平塚市体育協会 平塚市体育振興連絡協議会 平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市レクリエーション連盟 平塚市スポーツクラブ連合 平塚市まちづくり財団 スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	第4回ひらつか市民スポーツフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。	0	継続	第6回目まで開催しており、イベントとして定着してきているため、市民の認知度も上がってきている。スポーツへの興味関心を高め、きっかけづくりとなる事業であるため、今後も継続する。
60-1 60-2 60-3	横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズを活用したイベントの開催	横浜DeNAベイスターズ 横浜ビー・コルセアーズ 総合公園課	市内小学校選手訪問	スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツをすることの楽しさを知ってもらうため、プロスポーツで活躍する選手が市内小学校を訪問し、児童と直接触れ合いながらスポーツの魅力を伝えます。	学校訪問の実施が新型コロナウイルス感染症対策のため湘南ベルマーレがリモートで実施。 Jリーグホームゲームでドリームバスポートデーを開催。	スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを観る・することの楽しさを知ってもらう機会を提供できた。	継続	スポーツを楽しめるまちを推進するため、今後も大会の招致や開催を行う。
61-1	トップアスリートを活用した事業の開催	オリパラ推進課	リトアニア共和国パラリンピック委員会からのビデオメッセージ放映	トップアスリートと直に触れ合う機会に替えて、パラスポーツの魅力や東京2020パラリンピック競技大会の機運を高めるため実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、リトアニア共和国パラリンピック委員会ナショナルチームによる事前キャンプが中止になる等、東京2020パラリンピック競技大会に向けた同委員会のスケジュールが流動的になり、調整が困難になったため、実施できなかった。	当該事業を通じた目的達成はできなかったが、大会の機運を高めるため、パラリンピック出場選手・種目や競技結果などの紹介を市ホームページや市公式LINE等により広く市民に周知した。	終了	東京2020の終了により、本事業を終了する。
61-2	トップアスリートを活用した事業の開催	オリパラ推進課	ブラサカと考える共生社会 in Hiratsuka	共生社会実現に向けたイベントの中で、ブラインドサッカーチームによるデモンストレーション試合等を実施し、パラアスリートとの交流の機会を創出する。また、パラスポーツ(パラリンピック採用競技)への理解を深め、パラリンピック大会の機運醸成を図るとともに共生社会の促進につなげる。	NPO法人日本ブラインドサッカー協会協力の下、ブラインドサッカーチームによるデモンストレーション試合などを実施した。 107名が観覧した。	アンケートの結果、観覧者の80%以上が当イベントに満足し、パラリンピックへの興味が高まったと回答した。	終了	内閣官房オリパラ基本方針推進調査事業として実施したため、今年度限りの事業とする。
62	スポーツ施設の運営・管理	スポーツ課	スポーツ施設の管理・運営	スポーツをする場を提供するため、スポーツ施設を運営・管理します。	令和3年度体育施設利用状況 計 275,378人 (桃浜町庭球場・軟式庭球場、王御住運動広場、小中夜間照明施設、大神スポーツ広場、土沢多目的広場・土沢野球場・パークゴルフ場)	スポーツ課所管の体育施設の維持・管理・運営を行い、市民がスポーツを楽しむ場所を提供した。緊急事態宣言の発令を受け、一部の所管施設が利用中止となった期間があった。	継続	市民の健全なスポーツ活動の普及発展のため、体育施設を効率的に維持・管理・運営を継続していく。
63-1	有料公園施設の運営・管理	みどり公園・水辺課	効率的な施設の運営・管理	スポーツを楽しんでもらう場を提供するため、湘南海岸公園内のフットサルコートの利用貸出を行います。 利用形態:2時間1単位【市内】900円、【市外】1,800円	屋外専用フットサル場として、市内で市で行っている唯一の施設で、安価でフットサル愛好家に提供しています。	フットサル愛好家にフットサルをする場の提供ができました。特に土日祝の利用率が高く、毎週利用者がいます。	継続	利用者にとって安全で快適な利用ができるような運営・管理を継続していきます。
63-2	有料公園施設の運営・管理	総合公園課	効率的な施設の管理・運営	市民がスポーツを「する」「観る」場の提供のため、スポーツ施設を効率的に管理・運営します。	利用者数延べ525,483人 (有料施設来場者)	新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、「する」「観る」場を提供することができた。	継続	利用者が安心して快適に利用できる場所として今後も管理・運営を行う。

# 令和3年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
64	学校体育施設開放の個人利用の促進	スポーツ課	小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブに委託して、小・中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放する。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。みずほ小学校 年7回	新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、実施回数を削減した。	継続	大学交流事業としてパラスポーツ体験を今後も取り入れながら継続していく。また事業実施の際には感染症対策を徹底し、市民の健康促進等の場を提供していく。
65-1	指定管理者制度の活用	みどり公園・水辺課	ビーチセンターへの指定管理者の導入	効率的な施設の運営・管理に努めるため、ビーチスポーツ等のノウハウを持つ指定管理者を導入します。	各種ビーチスポーツの大会誘致や体験教室を開催し、施設の活用と普及を図る予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の関係で、実施できませんでした。	新型コロナウイルス感染症の関係で、実施できませんでした。	継続	今後とも、指定管理者のノウハウを活かした施設の運営・管理に努めていきます。
65-2	指定管理者制度の活用	総合公園課	馬入ふれあい公園指定管理	コストを削減し、効率的な管理運営を行うため、馬入ふれあい公園の管理運営業務について指定管理者制度を導入します。	馬入ふれあい公園指定管理事業者が、施設の運営管理を行った。	管理運営上さまざまな事務改善がなされ、効率的な運営が実施できた。	継続	今後も民間企業のノウハウを活用した効率的な管理運営が期待されるため継続する。
65-3	指定管理者制度の活用	スポーツ課	指定管理者制度の活用	市民サービスの向上と効率的な施設運営を図るため、指定管理者制度を活用します。	桃浜町庭球場・軟式庭球場・大神スポーツ広場及び湘南ひらつかパークゴルフ場・土沢野球場・土沢多目的広場の管理・運営に努めた。	体育施設の維持、管理、運営を行い、スポーツを楽しむ環境づくりに寄与した。	継続	今後も民間企業のノウハウを活かして効率的な管理運営に努めていく。
66	公民館附属体育館の運営・管理	中央公民館	公民館附属体育館の運営・管理	市民にスポーツの場を提供するため、市内5館の附属体育館の管理・運営を行います。	合計 6739回 延べ127322人 内訳 花水公民館 1788回 延べ31052人 神田公民館 1233回 延べ26350人 金目公民館 1276回 延べ20887人 金田公民館 1282回 延べ22157人 旭南公民館 1160回 延べ26876人	感染対策を講じながら、昨年度より規模を拡大して実施した。	継続	感染対策を講じながら、継続する。
67	民間スポーツ施設等の情報・実績把握	スポーツ課	小松製作所のグラウンド・テニスコートを地域住民に開放する	小松製作所、平塚市との協定により、民間スポーツ施設の利活用を行い、地域住民へ運動の場を提供するもの。	施設の老朽化等に伴い、当面の間利用禁止となっている。修繕の見通しも立っておらず、利用の再開については先方からの連絡待ちとなっている。	施設の老朽化等に伴い、令和3年度から当面の間利用禁止となっている。	休止	施設の老朽化等に伴い、令和3年度から当面の間利用禁止となっている。
68	スポーツ用具有効活用事業	スポーツ課	各種団体にスポーツ用具の貸出を行う。	ニュースポーツを中心としたスポーツ用具を市民に貸し出すことで、スポーツを気軽に楽しんでもらい、継続してスポーツに取り組んでもらうことができる。	113件の貸出を実施した。	ポッチャ、バウンドテニス、ストラックアウトなど、約40種類のパラスポーツやニュースポーツを中心とする用具の貸出を行い、市民のスポーツ活動を側面から支えている。令和3年度は東京オリンピック・パラリンピック開催後にポッチャの借用が増加したことを受け、市民のニーズに応えられるよう、ポッチャ用具を追加購入し貸出数を増やした。	継続	市民のスポーツ活動への関心が高まっており、パラスポーツやニュースポーツの体験機会をより一層提供するため。
69	スポーツに関する情報の提供	スポーツ課	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業	スポーツを希望する市民が「いつでも、どこでも、手軽に」ホームページから市内のスポーツ団体・イベントに関する活動情報を得ることができるようにするため、協働事業として平塚市内のスポーツ情報を取り纏めたポータルサイトを構築・運営します。	コロナ禍に伴うスポーツイベントの減少により、アクセス人数が51,907名、ページビュー数が143,361件と前年度と比較して、微減の状況であった。コロナ禍でも1人でできる運動等の情報を掲載するなど、コロナ禍でのスポーツ活動の情報提供を行った。	コロナによるスポーツイベントの減少が大きく、アクセスに繋がらなかった。お家時間でのスポーツなどの情報も掲載したが、常に新しい情報を提供しつづけることは難しく、定着し始めたユーザー離れがあったと推察できる。	継続	スポーツイベントや団体の活動が再開されないと根本的な解決は難しいが、関連するイベント等の掲載も含めて、継続して実施していく。

# 令和3年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
70	スポーツに関する情報の提供	平塚市まちづくり財団	スポーツタウンひらつかの発行等	スポーツに対する親しみや理解を高め、健康増進へのきっかけづくりや運動をする機会の提供を図るため、情報誌「スポーツタウンひらつか」や財団のホームページ等により、スポーツの情報を提供する。	スポーツタウンひらつかの発行:年2回発行 3,000部 又は4,000部/回 市内の公共施設や市外の団体等へ配布 財団ホームページによる教室案内等の情報発信	スポーツへの興味関心を高め、多くの方のスポーツ教室への参加に繋がり、健康の保持増進に寄与していると考える。	継続	スポーツ情報の提供はスポーツに対する親しみや理解を高め、健康増進へのきっかけづくりや運動をする機会の提供に繋がるため、今後も継続する。
71	地元メディアの活用	スポーツ課	地元メディアの活用	スポーツに関する情報を広く市民に提供するため、地元メディアを活用します。	新型コロナウイルスの影響でスポーツイベント等を実施できなかったが、スポーツに関連した情報について地元メディアに提供した。	スポーツイベントが中止により、市民へのスポーツに関連した情報提供の機会が少なくなっていることから、少年野球大会に関連した情報の提供など、地元メディアを通じて可能な限りスポーツに関連する情報の提供に努めた。	継続	今後も地元メディアを活用し、効果的に市民に対するスポーツ関連情報の発信に取り組む。